

後者大通鑑序

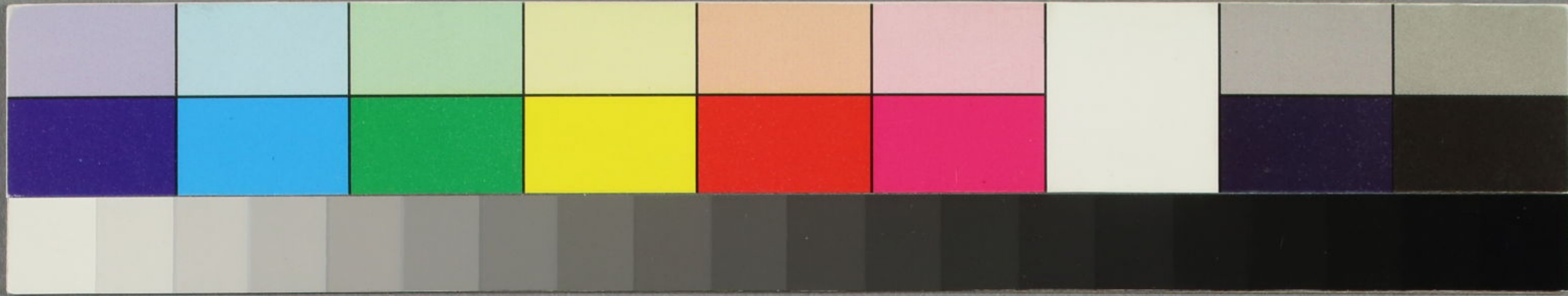
後者大通鑑序  
大坂

後者大通鑑序  
京

壹體

特別  
千3  
3849  
45





門子 13  
3849  
45

45

設者大通船  
永之春月録満山岩

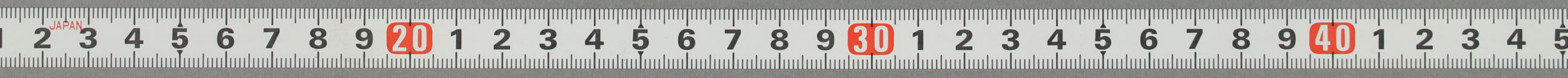
款見世や言乃

中より梅と虫の

白ひ色  
舞云此仕組小

あ  
つらぬ

法見物乃  
つらぬの  
足少う



楽屋への

はながら〜いふ

おん

後川の大筋

おん

後川乃

おん

尾と松の

一尺此面

おん

おん

東曰一芝居地役者同録  
各代布袋松又敷を後川と云

▲立役之部

○見立款字不あるもの

極上上吉 尾上菊又布

おん

上上吉 中村十

おん

上上吉 尾上新七

おん

上上吉 尾上松助

おん

上上 後尾冬彦

おん

上上 嵐及十布

おん

上上 深松七之布

おん

上上

中村正又布

錫

上上吉

▲美濃郡役々部  
嵐七又布

鹽

上上吉

坂田来布

鹽

上上

清尾國又布

眞

上

尾上勘四布

眞

一上

沢村竹又布一上中村森布

上上吉

▲若女飛々部  
嵐小六

眞

上上

後川山吾

元

上上

尾上松之丞

文

上上

▲美濃郡役々部  
中村正又布

錫

上上吉

坂田来布

鹽

上上吉

清尾國又布

眞

上上

尾上勘四布

眞

一上

沢村竹又布一上中村森布

上上吉

▲若女飛々部  
嵐小六

眞

上上

後川山吾

元

上上

尾上松之丞

文

上上

松山小源次

業

上上

▲色子くち  
嵐重の井

業

上上上

之掛江良吉  
小倉山彦  
中山花里

業

一

松平小式部少将  
中村正又布

一

嵐重の井  
中村正又布

一

之掛江良吉  
嵐小倉山彦

一

松平手猪右衛門  
市川新五郎

一

嵐重の井  
尾上七三郎

一世一代

嵐小六  
附原

業

山姥の石巻のりくち  
深川ひさ春

因幡系師境内中芝居假若国縁

本十月二日各代 彦平 いせ松之吉

堀殿令廓令山 三巻お

上の巻 大湊令入船 彦平の巻

中の巻 祇園寺九重障 四の口の切

下の巻 三日志平記 彦平の巻

▲立役之志忠初假之部

穴上上吉 大和川之巻 彦平の巻

上上吉 若川音松 彦平の巻

上上吉 藤塚若八 彦平の巻

上上吉 中村安世 彦平の巻

上上吉 中村虎彦 彦平の巻

上上吉 小佐川勢流 彦平の巻

上上吉 福山七之良 彦平の巻

上上 浅尾虎吉 彦平の巻

上上 尾上又之良 彦平の巻

上上 若川徳彦 彦平の巻

▲若女形之部

上上吉 嵐 比賣 彦平の巻

上上吉 山下半重 彦平の巻

上上吉 中村龜菊 彦平の巻

上上吉 中村安之助 彦平の巻

上上吉 佐神川三吉 彦平の巻

上上 中村熊助 彦平の巻

上 嵐 若之巻 彦平の巻

上 水本外之巻 彦平の巻

上 浅尾為之助 彦平の巻

若巻軸 尾上徳次良 彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

彦平の巻

○はりまてりまます

之は養育定 他者自笑

二のちり天澤刺 附 志願まよひくま柳ハ美世のけいせ

役者男風流 全巻之冊

年 山月まゝる極楽毎門の物ぐい

右来月之月お本出りいこき舞ハ  
出也は流るてトト

羽板より本出りる後入

附 遊園のほろろり高の舞臺の楽師

事の一まゝるる事まゝるる事まゝるる事

浮世まゝるる事 全巻之冊

并 高の娘の娘の娘の娘の娘の娘の娘

多の住居の娘の娘の娘の娘の娘の娘

たてまけは出りやいり山取の娘て  
トトいませるとい

●頭取口上

此は天板の傾堀南丸芝居の末正月十日

祝言自ははらけ役者付の役割と合後

○京東余南側芝居の各代名楽師の御事

国親見世栄合勢 三巻後

上の巻 燭姫 袖鏡

中の巻 福左 梅守 可富 紙子

下の巻 姫競 三系 後草紙

▲立役定定悪敵役之部

上吉 嵐伊八 上吉 三柳 他

上吉 市野川 五兵衛 上吉 尾上 松助

上吉 市野川 五兵衛 上吉 尾上 松助

上吉 中村 五兵衛

上吉 中村 五兵衛

上上 坂东侍常 （原ハカ）

上上 中山五郎 （不友刑ノ末子ノ小孫ニテ云々）

上上 嵐芳彦 （伊勢ノ山守トシテ云々）

上上 友川平彦 （珍友トシテ云々）

▲若女形若丸形之部

上上言 嵐衣次郎 （おこひめスレテ云々）

上上言 扶野仙常 （たんま房カガキト云々）

上上 二称弥之郎 （おとろて云々）

上上 柏井金次郎 （小づらんぐり云々）

上上 中山徳彦 （おとろて云々）

上上 極上言 中山捕彦 （おとろて云々）

其外ハ略シテ...

安永五年申正月吉日

京大町セのせんト下町

八文字入名門板

○年越の豆男新板伊勢和信

此名は... 伊勢和信... 新板... 豆男... 年越... 伊勢... 和信... 此名は... 伊勢和信... 新板... 豆男... 年越... 伊勢... 和信... 此名は... 伊勢和信... 新板... 豆男... 年越... 伊勢... 和信...









Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dense, flowing style with many flourishes and ligatures. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dense, flowing style with many flourishes and ligatures. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is highly stylized and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.







ハカクハ [10] 物 [11] 物 [12] 物 [13] 物 [14] 物 [15] 物 [16] 物 [17] 物 [18] 物 [19] 物 [20] 物 [21] 物 [22] 物 [23] 物 [24] 物 [25] 物 [26] 物 [27] 物 [28] 物 [29] 物 [30] 物 [31] 物 [32] 物 [33] 物 [34] 物 [35] 物 [36] 物 [37] 物 [38] 物 [39] 物 [40] 物 [41] 物 [42] 物 [43] 物 [44] 物 [45] 物 [46] 物 [47] 物 [48] 物 [49] 物 [50] 物 [51] 物 [52] 物 [53] 物 [54] 物 [55] 物 [56] 物 [57] 物 [58] 物 [59] 物 [60] 物 [61] 物 [62] 物 [63] 物 [64] 物 [65] 物 [66] 物 [67] 物 [68] 物 [69] 物 [70] 物 [71] 物 [72] 物 [73] 物 [74] 物 [75] 物 [76] 物 [77] 物 [78] 物 [79] 物 [80] 物 [81] 物 [82] 物 [83] 物 [84] 物 [85] 物 [86] 物 [87] 物 [88] 物 [89] 物 [90] 物 [91] 物 [92] 物 [93] 物 [94] 物 [95] 物 [96] 物 [97] 物 [98] 物 [99] 物 [100] 物

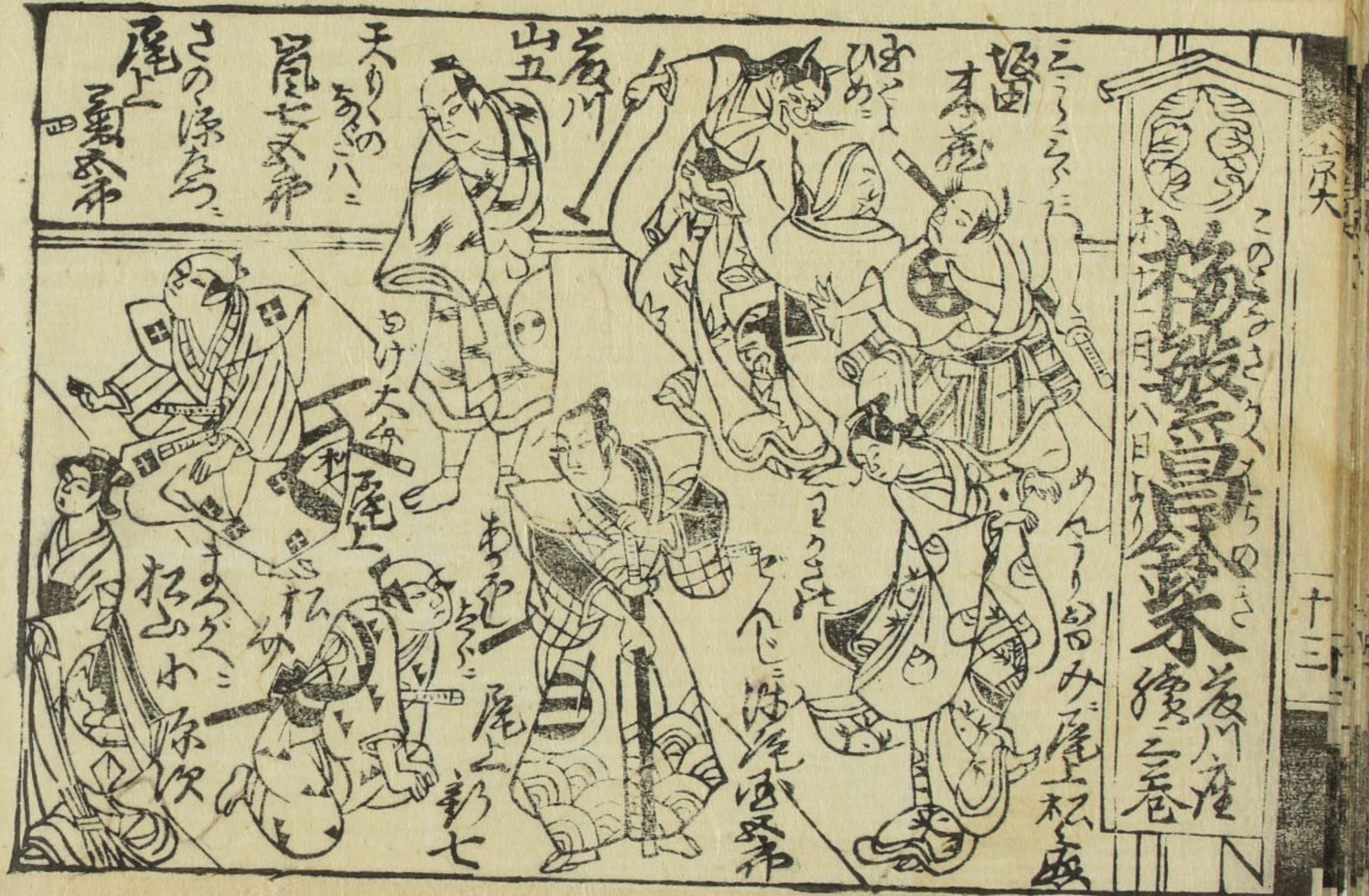
上上吉 ◎ 中村十花

[101] 物 [102] 物 [103] 物 [104] 物 [105] 物 [106] 物 [107] 物 [108] 物 [109] 物 [110] 物 [111] 物 [112] 物 [113] 物 [114] 物 [115] 物 [116] 物 [117] 物 [118] 物 [119] 物 [120] 物 [121] 物 [122] 物 [123] 物 [124] 物 [125] 物 [126] 物 [127] 物 [128] 物 [129] 物 [130] 物 [131] 物 [132] 物 [133] 物 [134] 物 [135] 物 [136] 物 [137] 物 [138] 物 [139] 物 [140] 物 [141] 物 [142] 物 [143] 物 [144] 物 [145] 物 [146] 物 [147] 物 [148] 物 [149] 物 [150] 物 [151] 物 [152] 物 [153] 物 [154] 物 [155] 物 [156] 物 [157] 物 [158] 物 [159] 物 [160] 物 [161] 物 [162] 物 [163] 物 [164] 物 [165] 物 [166] 物 [167] 物 [168] 物 [169] 物 [170] 物 [171] 物 [172] 物 [173] 物 [174] 物 [175] 物 [176] 物 [177] 物 [178] 物 [179] 物 [180] 物 [181] 物 [182] 物 [183] 物 [184] 物 [185] 物 [186] 物 [187] 物 [188] 物 [189] 物 [190] 物 [191] 物 [192] 物 [193] 物 [194] 物 [195] 物 [196] 物 [197] 物 [198] 物 [199] 物 [200] 物

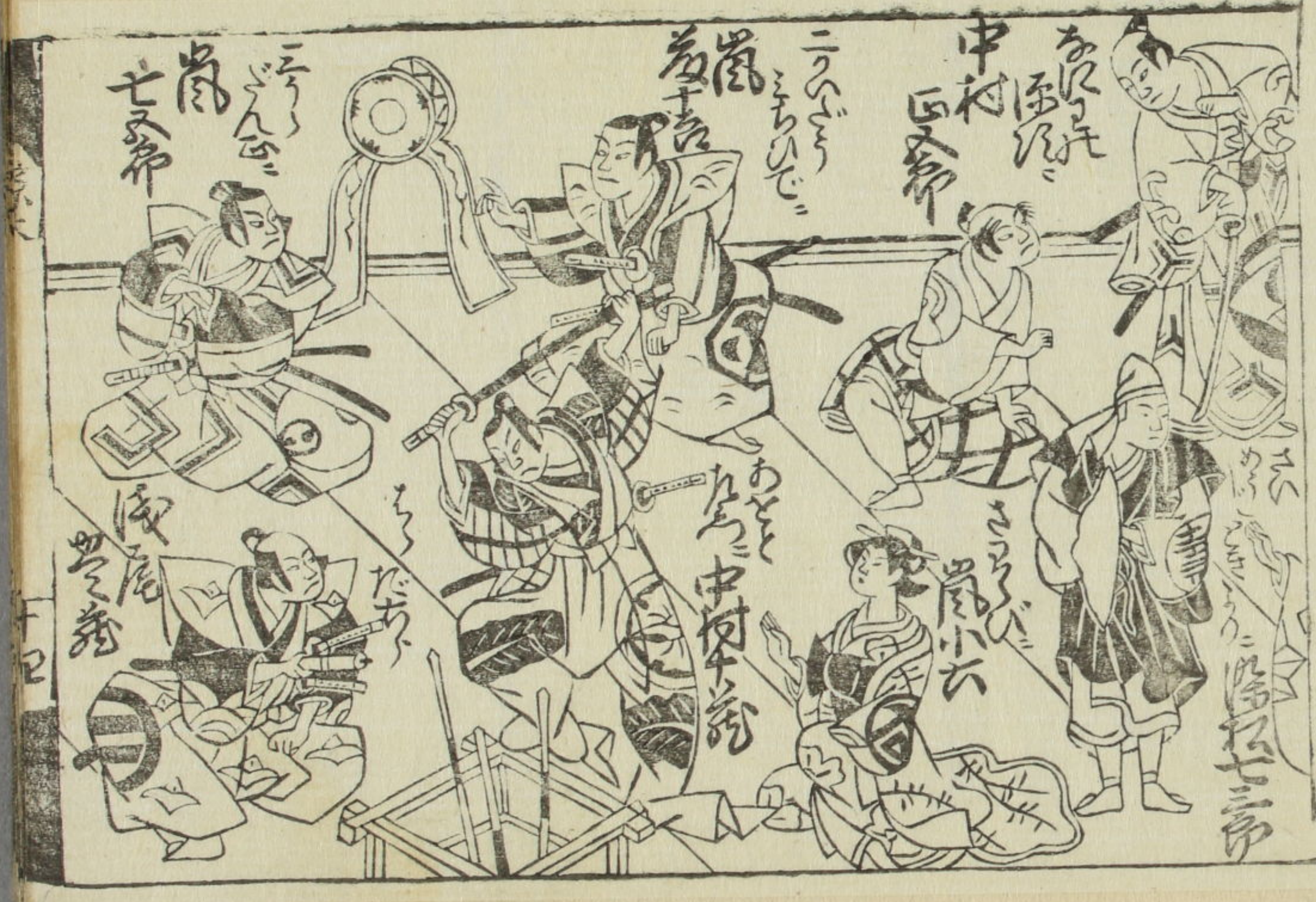
ワカクハ [201] 物 [202] 物 [203] 物 [204] 物 [205] 物 [206] 物 [207] 物 [208] 物 [209] 物 [210] 物 [211] 物 [212] 物 [213] 物 [214] 物 [215] 物 [216] 物 [217] 物 [218] 物 [219] 物 [220] 物 [221] 物 [222] 物 [223] 物 [224] 物 [225] 物 [226] 物 [227] 物 [228] 物 [229] 物 [230] 物 [231] 物 [232] 物 [233] 物 [234] 物 [235] 物 [236] 物 [237] 物 [238] 物 [239] 物 [240] 物 [241] 物 [242] 物 [243] 物 [244] 物 [245] 物 [246] 物 [247] 物 [248] 物 [249] 物 [250] 物 [251] 物 [252] 物 [253] 物 [254] 物 [255] 物 [256] 物 [257] 物 [258] 物 [259] 物 [260] 物 [261] 物 [262] 物 [263] 物 [264] 物 [265] 物 [266] 物 [267] 物 [268] 物 [269] 物 [270] 物 [271] 物 [272] 物 [273] 物 [274] 物 [275] 物 [276] 物 [277] 物 [278] 物 [279] 物 [280] 物 [281] 物 [282] 物 [283] 物 [284] 物 [285] 物 [286] 物 [287] 物 [288] 物 [289] 物 [290] 物 [291] 物 [292] 物 [293] 物 [294] 物 [295] 物 [296] 物 [297] 物 [298] 物 [299] 物 [300] 物







梅枝昌録 後川巻  
この巻は、梅枝昌録の著述である。後川巻は、その著述の一部である。この巻は、梅枝昌録の著述である。後川巻は、その著述の一部である。











入色後... 諸般... 事...

▲若女... 部

上上書 ④ 嵐 小六

四書... 嵐... 小六... 嵐... 小六... 嵐... 小六...

其の事... 嵐... 小六...

上上 ⑤ 嵐 小六

嵐... 小六... 嵐... 小六... 嵐... 小六...

嵐... 小六... 嵐... 小六... 嵐... 小六...

寺より東へ向ひて半を距りて居る事也此の  
のは津守の親書のなりてりて其の事也

上上 一尾上松く虫

此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫

此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫

此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫  
此の事也 一尾上松く虫 此の事也 一尾上松く虫

上上 松く虫

又曰松平清康は其の孫に清盛と改めし事あり  
 初めは清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり

上上 嗣 嵐 三の井

又曰清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり

上 上 上 之升 乃弟 有

上 上 上 少倉山 乃弟 有

上 上 上 中山 乃弟 有

又曰清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり

又曰清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり  
 清盛は其の孫に清盛と改めし事あり



山嵐 雛助

一世 代 作





















松屋のりん

女形とんえぬん

男がら

およあし此評判

これあつて

振子のなれ

松屋のりん

およあし押ま

あつて

大坂乃松屋二葉花柳用源

名代松屋乃松屋

三井松屋

名代大坂乃松屋

小川若右衛門

▲立役と部

。尺三松合後工券のたて

真上上吉 中山文七 小川元

大上上吉 三井大九郎 尾本政

上上吉 小川若右衛門 元平

上上吉 若川八藏 小川元

上上吉 中山本助 日左

上上吉 嵐文五郎 元平

おのふん乃松屋のりん

上上書 及川柳翁 小川左

上上書 此お世ははろくと本せり 沢村宗十郎 三井元

上 中村右左衛門 赤上 中山後平治

上 中村右左衛門 全上 芳次十三全

上 嵐松十命 全上 嵐松八全

上上書 嵐松十命 嵐松三郎 三井元

上上書 實悪く部 浅尾為十郎 小川左

上上書 坂东岩又郎 三井元

上上書 中村右左衛門 小川左

上上書 市川宗三郎 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 此お世ははろくと本せり

上上書 上へ評物よぶるさる伏見院

上上書 嵐松十命 全上 嵐松八全

上上書 嵐松十命 嵐松三郎 三井元

上上書 實悪く部 浅尾為十郎 小川左

上上書 坂东岩又郎 三井元

上上書 中村右左衛門 小川左

上上書 市川宗三郎 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

上上書 三井元 三井元

世利不流系... 収束... 果... 文の終り

上上吉 沢村圓左衛門 日左

此の風を打たれりて懐の強

上上吉 姉川大吉 三升元

るを... 誓... 成... 山

上上吉 花桐を松 小川元

一風を... け... 歩... 中

上上吉 山科甚吉 日左

至... け... 目... 元

上上 中村玉かへ 日左

後... け... 玉... 元

上上 中村長之助 三升元

大... 花... け... 元

上上 沢村千吉 小川元

花... け... け... 元

上上 市川吉左衛門 三升元

は... け... け... 元

上上 鼠籠次郎 三升元

名... け... け... 元

上 鼠久之助 小川元

此... け... け... 元

上 鼠松次郎 小川元

此... け... け... 元

上 三升松之助 日左

此... け... け... 元

上上吉 三升徳次郎 三升元

此... け... け... 元

上上吉 尾上久次郎 三升元

此... け... け... 元

上 鼠秀助 三升元

此... け... け... 元

上 鼠若吉 小川元

此... け... け... 元

上 三升竹之助 三升元

此... け... け... 元

上 三升三代次郎 三升元

此... け... け... 元

▲三升元色子... 部

鼠山... の... の... の...



善女形 生傳八郎

口 萩屋仙次郎

口 嵐之次郎

口 嵐佐七郎

口 相井全三郎

善女形 嵐吉次郎

善女形 尾上初之助

口 市山龜之助

口 嵐園市

口 丸岡佐世七

善女形 芳沢加吉

福江回春楼

芝居 生不葉茶屋

芝居 生不葉茶屋

芝居 生不葉茶屋

日高山相屋

芝居 市形川内

口 山音芳

口 嵐川幸市

口 中山音

芝居 生不葉茶屋

芝居 生不葉茶屋

芝居 生不葉茶屋

長崎細目

芝居 山下京右衛門

口 嵐今之助

口 芳沢万吉

口 山科政五郎

芝居 竹中綱八

口 中村以常

口 今村七郎

口 嵐下右衛門

口 坂東園

芝居 山村光彦

芝居 荒不美彦

口 小川千菊

口 嵐小雛

口 中村菊以郎

善女形 芳沢加吉

口 中村新彦

口 洞房長江

口 嵐江彦

口 尾上松彦

芝居 萩屋仙次郎

芝居 沢村左右衛門

口 嵐芝松

口 嵐加吉

口 佐野川辰松

口 岩井佐右衛門

善女形 山田富太郎

稻荷神社 生不葉茶屋

化粧始捕股

武部源五郎

天徳寺 生不葉茶屋

神助新八

秋葉院

浪花御堂高田 申長漆千軒者

立役	中村仲五	度	石桐五市郎
口	嵐園次市	口	嵐秀五郎
口	岩村百彦	口	中村五市郎
口	北川雷三市	口	石村七次市
立役	仁平四市郎	立役	嵐七三郎
敬役	中村東彦	敬役	浅尾お右衛門
口	坂本蟹彦	口	方心之平彦
立役	岩村権八	口	松平治市三
立役	小坂川兵衛	立役	中村岩彦
善形	友井石次	善形	西川右左
口	松本室三郎	口	嵐万五市郎
口	小坂川兵衛	口	中山梅三
善形	坂本忠吉	善形	荒木八十八
			岩井八十七

安永五年申正月吉日  
 八文字屋八倉板  
 京ふ町七のちの下下所

○此の儀は... 紙の節に... 芳い... 善形... 敬役... 立役... 口... 善形... 敬役... 立役... 口... 善形... 敬役... 立役... 口... 善形... 敬役... 立役... 口...

○此の儀は... 紙の節に... 芳い... 善形... 敬役... 立役... 口... 善形... 敬役... 立役... 口... 善形... 敬役... 立役... 口...









Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in a dark ink on aged paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is dense and fills most of the page.

のはまをめぐりてしるしをふかすをあらわすは  
 海濱の地なりと云ふもさしづは舟よりの海切  
 よりして是をみれば海濱の地なりといふも  
 中よりみれば舟のやうに海濱の地なりと  
 云ふも海濱の地なりといふもさしづは舟  
 のやうに海濱の地なりといふもさしづは  
 舟のやうに海濱の地なりといふもさしづ  
 は舟のやうに海濱の地なりといふもさし  
 づは舟のやうに海濱の地なりといふもさ  
 しづは舟のやうに海濱の地なりといふも  
 さしづは舟のやうに海濱の地なりといふ  
 もさしづは舟のやうに海濱の地なりとい  
 ふもさしづは舟のやうに海濱の地なりと  
 いふもさしづは舟のやうに海濱の地なり  
 といふもさしづは舟のやうに海濱の地な  
 りといふもさしづは舟のやうに海濱の地  
 なりといふもさしづは舟のやうに海濱の  
 地なりといふもさしづは舟のやうに海濱  
 の地なりといふもさしづは舟のやうに海  
 濱の地なりといふもさしづは舟のやうに

かゝる文をよみて

安永五年

他著 自笑

申れ正月

○口上

東海く東のまを中村には舟のやうに  
 舟のやうに海濱の地なりといふもさし  
 づは舟のやうに海濱の地なりといふも  
 さしづは舟のやうに海濱の地なりといふ  
 もさしづは舟のやうに海濱の地なりとい  
 ふもさしづは舟のやうに海濱の地なりと  
 いふもさしづは舟のやうに海濱の地な  
 りといふもさしづは舟のやうに海濱の  
 地なりといふもさしづは舟のやうに海濱  
 の地なりといふもさしづは舟のやうに海  
 濱の地なりといふもさしづは舟のやうに

▲立役く部

貞上吉



中山文七

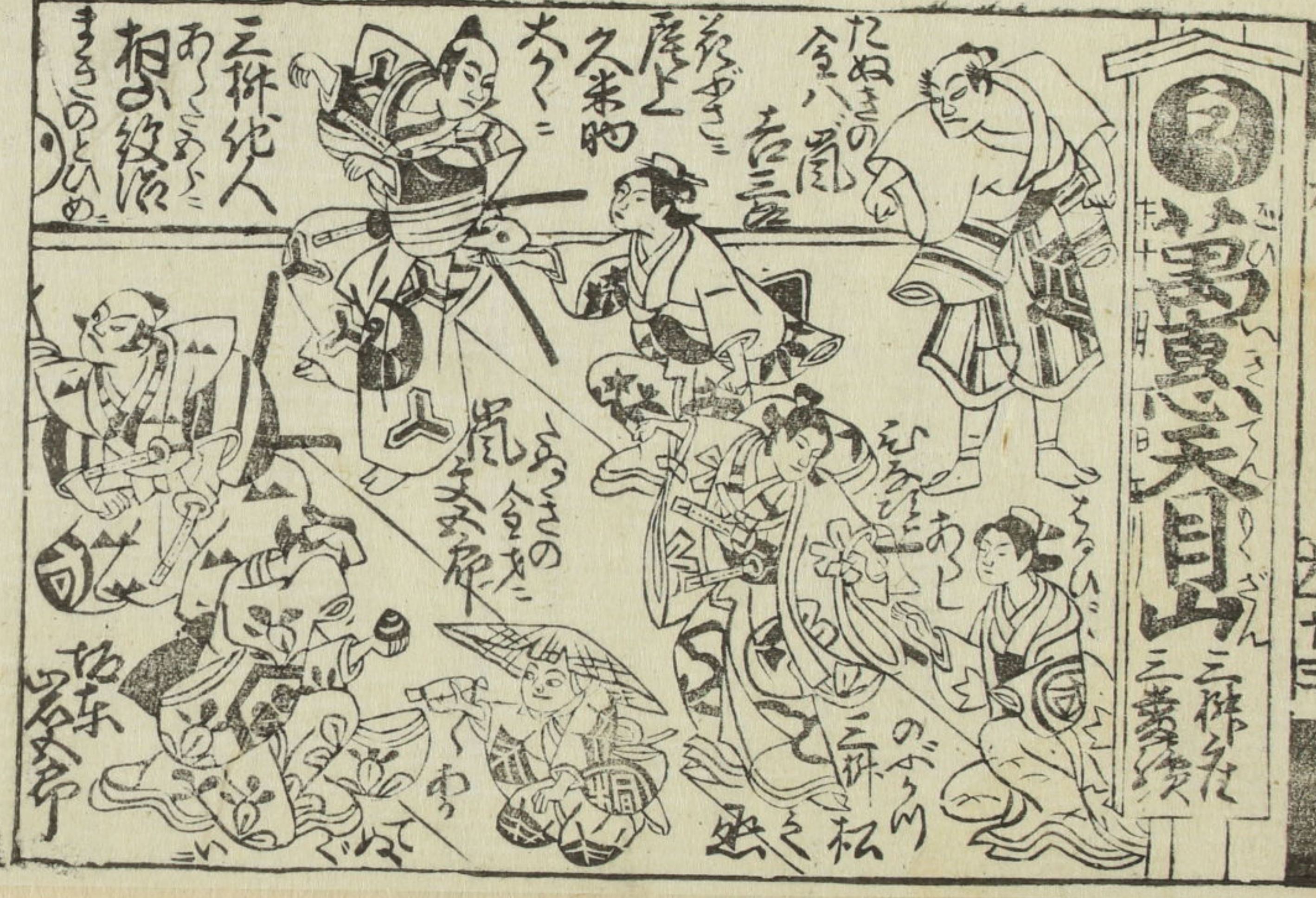
小川

函海く大坂のまを中村には舟のやうに  
 舟のやうに海濱の地なりといふもさし  
 づは舟のやうに海濱の地なりといふも  
 さしづは舟のやうに海濱の地なりといふ  
 もさしづは舟のやうに海濱の地なりとい  
 ふもさしづは舟のやうに海濱の地なりと  
 いふもさしづは舟のやうに海濱の地な  
 りといふもさしづは舟のやうに海濱の  
 地なりといふもさしづは舟のやうに海濱  
 の地なりといふもさしづは舟のやうに海  
 濱の地なりといふもさしづは舟のやうに













是れをよみの悪思ひ体公に申し運れを考へ  
其より其刀の力なきを知らしむるの事ととも  
る虎よ其空にれとけいふかきうくくくいの事  
らるは後身。是れももも代の日に出次と流す

上上書 嵐文九郎 三并

及五者歎く七五自山の口向て程の合方とて  
を川てうまうては管まは深え下し。後身は  
小化て死程とてうま。おん程まを亦も然る事  
あつとれむをむせられ。名をけして母乳  
あつとれむとれとれと程のふうかえといえ  
まねとて始終之書の文句はくの勢ひがら  
うへてうまうては管まは深え下し。後身は  
て知られ乳と程まは。後を修り。体とくぢ  
ほを教ると次でんめ。唾の奴が川平みく。  
長坂長岡を考へれあつての生。果を言はせ

ての口と二級もけいふ事。うまうては管まは  
を流す。うまうては管まは

上上書 夜川柳秀 小川

及五者歎く七五自山の口向て程の合方とて  
を川てうまうては管まは深え下し。後身は  
小化て死程とてうま。おん程まを亦も然る事  
あつとれむをむせられ。名をけして母乳  
あつとれむとれとれと程のふうかえといえ  
まねとて始終之書の文句はくの勢ひがら  
うへてうまうては管まは深え下し。後身は  
て知られ乳と程まは。後を修り。体とくぢ  
ほを教ると次でんめ。唾の奴が川平みく。  
長坂長岡を考へれあつての生。果を言はせ

上上書 沢村宗十郎 三并

及五者歎く七五自山の口向て程の合方とて  
を川てうまうては管まは深え下し。後身は  
小化て死程とてうま。おん程まを亦も然る事  
あつとれむをむせられ。名をけして母乳  
あつとれむとれとれと程のふうかえといえ  
まねとて始終之書の文句はくの勢ひがら  
うへてうまうては管まは深え下し。後身は  
て知られ乳と程まは。後を修り。体とくぢ  
ほを教ると次でんめ。唾の奴が川平みく。  
長坂長岡を考へれあつての生。果を言はせ









高知のいさかき... 美事... 高知のいさかき... 美事... 高知のいさかき... 美事...

▲若女形之部

上上吉



芳次郎之助

小川北

高知のいさかき... 美事... 高知のいさかき... 美事... 高知のいさかき... 美事...

高知のいさかき... 美事... 高知のいさかき... 美事... 高知のいさかき... 美事...

水の恩をすまぐ... 春水

まご留別

全


高知のいさかき... 美事... 高知のいさかき... 美事... 高知のいさかき... 美事...




陸天目山重高以古塔又空居がま優雅の表  
以年以多力合云々以終孫云々母云々其  
臣と長國わを以僕身方へのり云々今云々  
ある様と云々也云々也云々也云々也云々  
合に方云々也云々也云々也云々也云々  
方云々也云々

上吉  九桐老松 小川丸

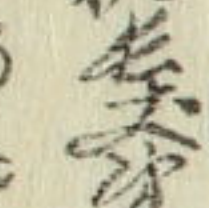
陸高野を優雅なるを以古塔又空居にわ  
純方云々純孫の孫云々云々云々云々云々  
次云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々

上吉  山科基吉 小川丸

百と事今云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々

上上  中村王祐 小川丸

陸中云々仲云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々

上上  中村善之助 小川丸

陸中云々仲云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
云々云々云々云々云々云々云々云々云々



上 川村子馬 小川

其妻の事... 川村子馬の事...

市川長右衛門三郎 嵐雛次郎二

上 嵐久八 菊虫 嵐松次郎中

上 三林松之丞 三

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...

三林松之丞の事...







にまする長年かゝりし方なき其の事なり  
いふ事なり

一嵐平郎 多岐村者 出島者あり  
一嵐七三郎 兵衛右衛門伊平者あり  
後多岐村者あり 出島者あり 伊平者あり

一市川豊後 出島者あり 大後者あり  
一市川次郎 出島者あり 大後者あり  
くはるる方なり 多岐村者あり 出島者あり  
力多岐村者あり 出島者あり 伊平者あり

一坂東海彦 出島者あり 大後者あり  
一坂東海彦 出島者あり 大後者あり  
一坂東海彦 出島者あり 大後者あり

一市川茶子郎 出島者あり 大後者あり  
一市川茶子郎 出島者あり 大後者あり

一市川茶子郎 出島者あり 大後者あり  
一市川茶子郎 出島者あり 大後者あり

一市川七三郎 出島者あり 大後者あり  
一市川七三郎 出島者あり 大後者あり  
一市川七三郎 出島者あり 大後者あり

一嵐敏次 出島者あり 大後者あり  
一嵐敏次 出島者あり 大後者あり

一市川七三郎 出島者あり 大後者あり  
一市川七三郎 出島者あり 大後者あり

一市川七三郎 出島者あり 大後者あり  
一市川七三郎 出島者あり 大後者あり

安永五年

申正月吉日

永野町 下町

八文字 大板

Handwritten Latin text, likely a list or index of names and places. Visible words include "Symbolum", "Missa", "Eucharistia", "Pater Noster", "Agnus Dei", "Credo", "Gloria in excelsis deo", "Sanctus", "Benedictus", "Agnus Dei", "Kyrie eleison", "Gloria in excelsis deo", "Sanctus", "Benedictus", "Agnus Dei", "Kyrie eleison".

後者大通鑑 瓶書定

江戸と書目録

ニッポヤル

あ乃翁

あつらひ

市川流のぼろ

出で

錯あ

海を流の東海

よやくのひら

あつらひ

あつらひ

さしつくと歌よ  
さしつくとさしつと  
のびと

まじらふとめ  
さしつと

さしつと  
八百元びんり

さしつとめ  
沖つ世の門と物

かひつとららり

さしつと  
さしつと  
伊あ

江戸之芝居惣役者同録  
さしつと 中村勘三郎  
さしつと 市村羽右衛門  
さしつと 栗田勘休

▲尺立芝居一たのこ

惣巻頭 夜市川海老藏 市村  
極吉 志づくの一等の役  
中村 栗田

又とあるまの役  
夜松本幸四郎 市村

三幅對  
上吉 中村 志づくの役  
さしつと

養山 之又市 日  
しつと

▲立役之部

上吉 市川團十郎 栗田  
之の役

上上吉 市川八百彦 市村彦

上上吉 大谷廣治 本園

上上吉 坂东三侍又市 日彦

上上吉 市川園彦 中村彦

上上吉 坂东又右市 市村彦

上上吉 山科四郎十郎 中村彦

上上吉 山本又九郎 表園

上上吉 尾上段之部 市村彦

上上吉 尾村俊又市 表園

上 尾上段彦 市村彦

上 坂东彦又市 表園

上 坂东彦又市 表園

上 市川彦又市 表園

上 中村彦又市 表園

上 市川彦又市 表園

上 市川彦又市 表園

上 市川彦又市 表園

上 市川彦又市 表園

ひいてわきこのはひのたの花

法見のつやちとくまの花

でんまーと女形乃花

小生のまろと治ひまの花

市村彦のりくしりしりまの花

今年とあまたまのりの花

こびと下でひまのりまの花

と中しりくふ世乃花

あまよひひく切志の花

▲実恵之部

上上吉 坂田中又市 市村彦

上上吉 中村彦又市 表園

上上吉 大谷彦又市 表園

上上吉 大谷彦又市 表園

上上吉 中村彦又市 表園

▲歌漫之部



上上

中村初左衛門

中村元

上上

之丞三郎

市村元

上上

市川純左衛門

日元

上上

中村新五郎

市村元

上上

中村健多郎

中村元

上上

松本小五郎

日元

上上

松本三郎

市村元

上上

中村南彦

日元

上上

中村大右衛門

日元

上上

市川徳次郎

中村元

上上

市川徳次郎

中村元

上上

市川徳次郎

中村元

上上

市川徳次郎

中村元

上上

市川徳次郎

中村元

上上

市川徳次郎

中村元

上上

市川徳次郎

中村元

上上

市川徳次郎

中村元

上上

市川徳次郎

中村元

何故考も其のまはりの花

ふまてふ新と其の花

款はよふの瓶詰乃花

文三郎のみいり款後の花

市川と其のまはりの花

やぶてまわらぶまらうの花

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

市川徳次郎

▲乃介形之始

上上 岸 音 八 中村氏

上 親の代り の代り  
大音 徳 次 齋

▲若女形之始

上上 山下 金 作 中村氏

上上 西 妻 友 彦 齋

上上 岩井 中 四 郎 中村氏

上上 中 村 里 好 中村氏

上上 沢 川 菊 之 丞 日 彦 中村氏

上上 中 村 野 隆 中村氏

上上 尾 上 多 之 助 齋

上上 沢 川 雄 次 郎 齋

上上 芳 沢 一 郎 齋

上上 小 佐 川 孝 吉 齋

上上 岩 小 次 郎 齋

上上 沢 川 吉 次 齋

上上 佐 藤 門 左 衛 門 齋

上上 坂 田 孝 之 助 齋

上上 中 村 西 五 郎 齋

上上 市川門之助 吉田氏

▲美尻取之部

上上 市川門之助 吉田氏  
市川門之助 吉田氏

上上 坂東素三郎 中村氏

上上 市川重茂 日守

上大谷他氏 中上 中村助氏 中

▲子取之部

中村七之市 中 中村修善 日

市川重茂 日 中村仙次 日

市川重茂 日 中村重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

市川重茂 日 市川重茂 日

▲市川重茂之部

山下金吾 日 山下松之丞

瓦上之松 日 市川重茂

神彦之丞 日 市川重茂

市川重茂 日 市川重茂

▲市川重茂之部

市川重茂 日 市川重茂

一上川小左衛門 一上川三右衛門  
一上川小左衛門 一上川三右衛門

▲上川左衛門の部

一上川左衛門 一上川三右衛門  
一上川左衛門 一上川三右衛門

▲上川三右衛門の部

市川久太郎 市川忠太郎  
市川忠太郎 市川久太郎

河竹新七 河竹新七

上上吉 富川辰十郎 市村茂

上上吉 依川新九郎 市村茂

上上吉 山田下里大 市村茂

▲市村茂の部

市村茂 市村茂

市村茂 市村茂

市村茂 市村茂

市村茂 市村茂

市村茂 市村茂

市村茂 市村茂

市村茂 市村茂

▲市村茂の部

市村茂 市村茂

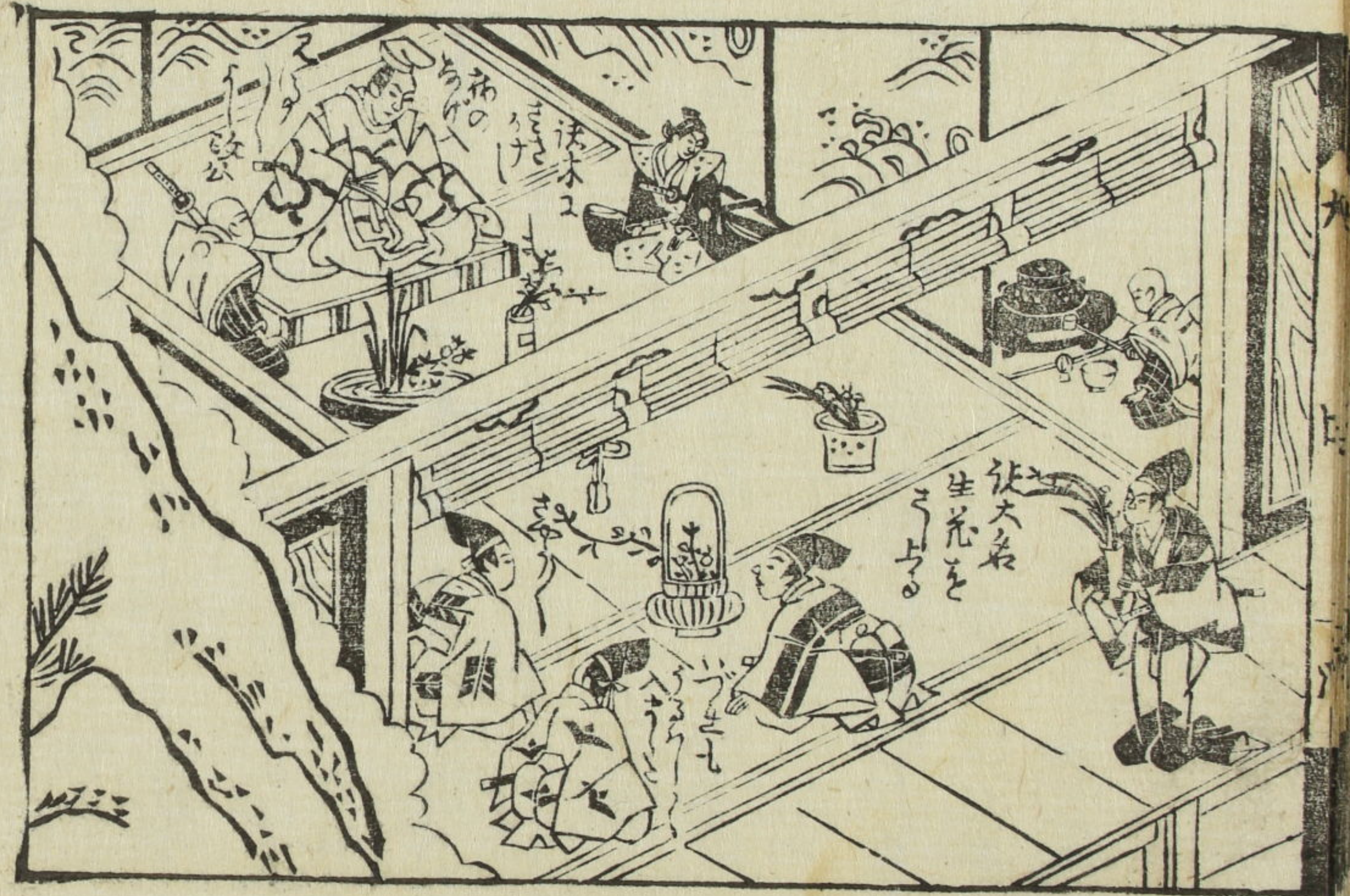
市村茂 市村茂

市村茂 市村茂

市村茂 市村茂

市村茂





其の如く... 梅雨... 雨... 雲... 霧... 雪... 霜... 露... 霜... 雪... 霧... 雲... 雨... 梅雨... 其の如く...

其の如く... 梅雨... 雨... 雲... 霧... 雪... 霜... 露... 霜... 雪... 霧... 雲... 雨... 梅雨... 其の如く...

其の如く... 梅雨...

〇二幅對



松平重忠 市村九



中村神藏 中村九



嵐之三五郎 中村九

頭取

又

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

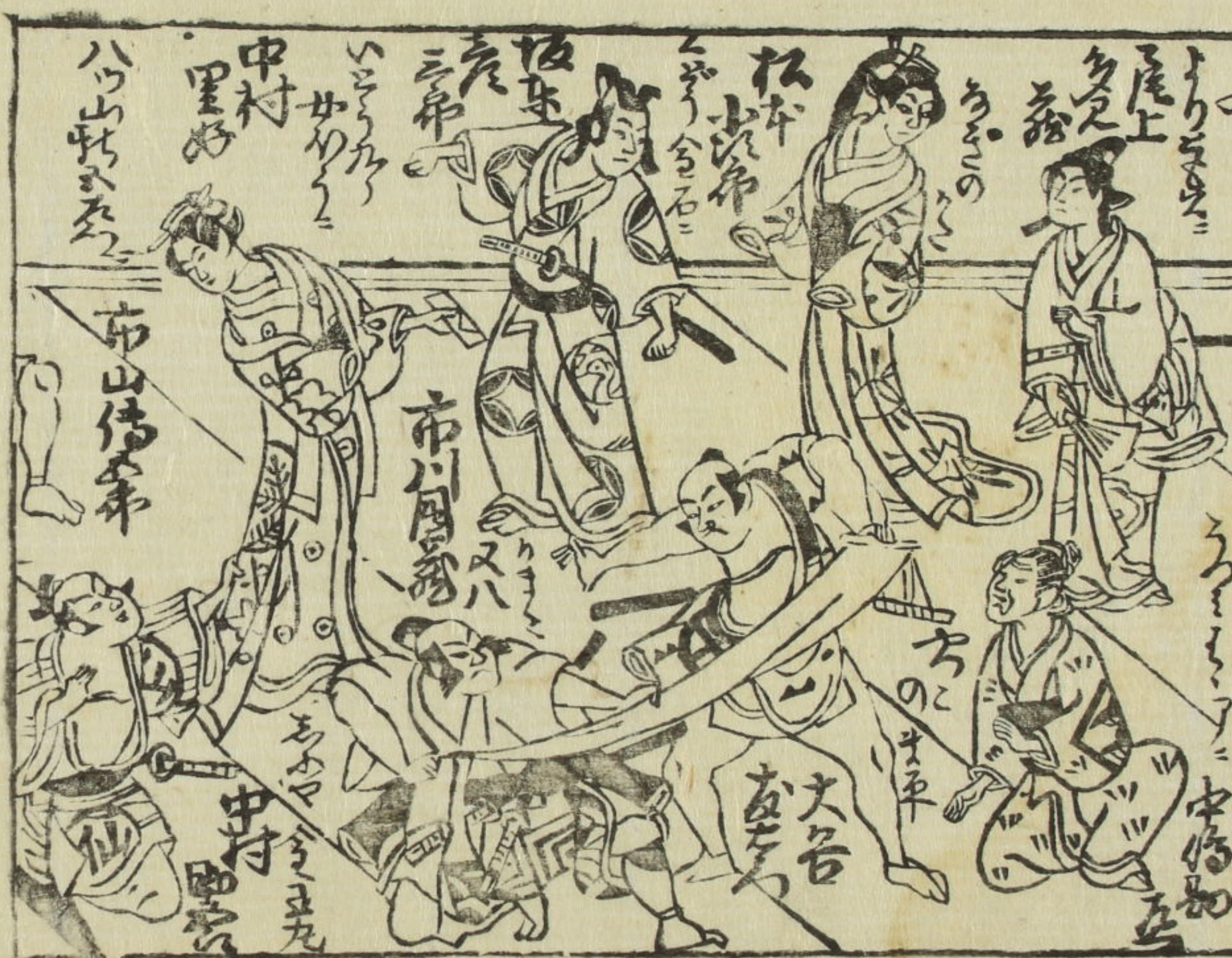
...

...





花相持演義張膳









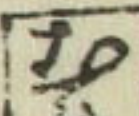











上上  尾上段三郎 中村

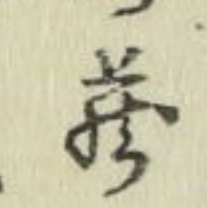
 尾上段三郎 中村  
尾上段三郎 中村  
尾上段三郎 中村  
尾上段三郎 中村

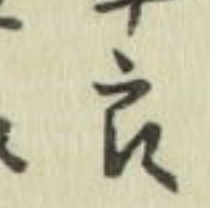
上上  尾上段三郎 中村

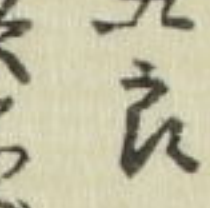
上  尾上段三郎 中村

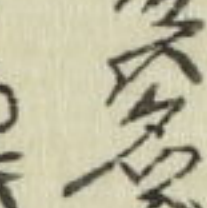
上  尾上段三郎 中村

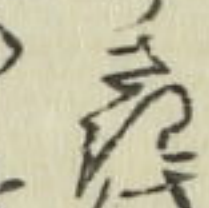
上  尾上段三郎 中村

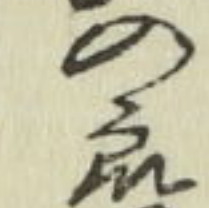
上  尾上段三郎 中村

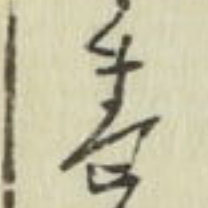
上  尾上段三郎 中村

上  尾上段三郎 中村


上  尾上段三郎 中村


上  尾上段三郎 中村

上  尾上段三郎 中村

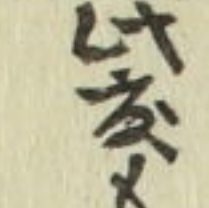
上  尾上段三郎 中村


▲ 尾上段三郎

上上吉  坂田半五郎 吉村

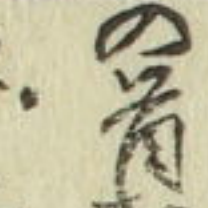
 坂田半五郎 吉村  
坂田半五郎 吉村  
坂田半五郎 吉村  
坂田半五郎 吉村

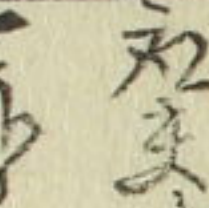
 坂田半五郎 吉村

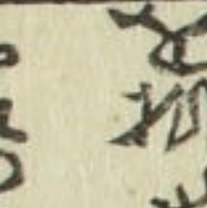
 坂田半五郎 吉村


 坂田半五郎 吉村


 坂田半五郎 吉村

 坂田半五郎 吉村

 坂田半五郎 吉村

 坂田半五郎 吉村

 坂田半五郎 吉村

 坂田半五郎 吉村


 坂田半五郎 吉村

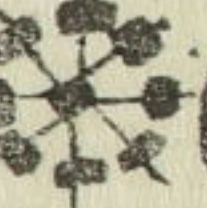
 坂田半五郎 吉村







と信じておく方が此の方ハ殺害を命ぜられた  
 罪に當りたててあつた位に致さうと云ふ  
 三層赤松など多し事大敷たつと云ふ  
 これ等の大木を多敷敷をいれりて  
 大七五平のこれ致及赤友の面を大七五平の致  
 せりて


上上  中村大右衛門 中村

上上  市山傳五郎 中村

上上  坂田五八 口右

上上  中村五郎 口右


上  坂東長次 中村


上  市川経彦 中村

此五 大七五平の源よりして殺害す。此方の大七五平  
 五平と云ふは此の源よりして殺害す。此方の大七五平  
 大七五平の源よりして殺害す。此方の大七五平

此の源よりして殺害す。此方の大七五平  
 横手は此の源よりして殺害す。此方の大七五平  
 此の源よりして殺害す。此方の大七五平


▲乃介伝之部

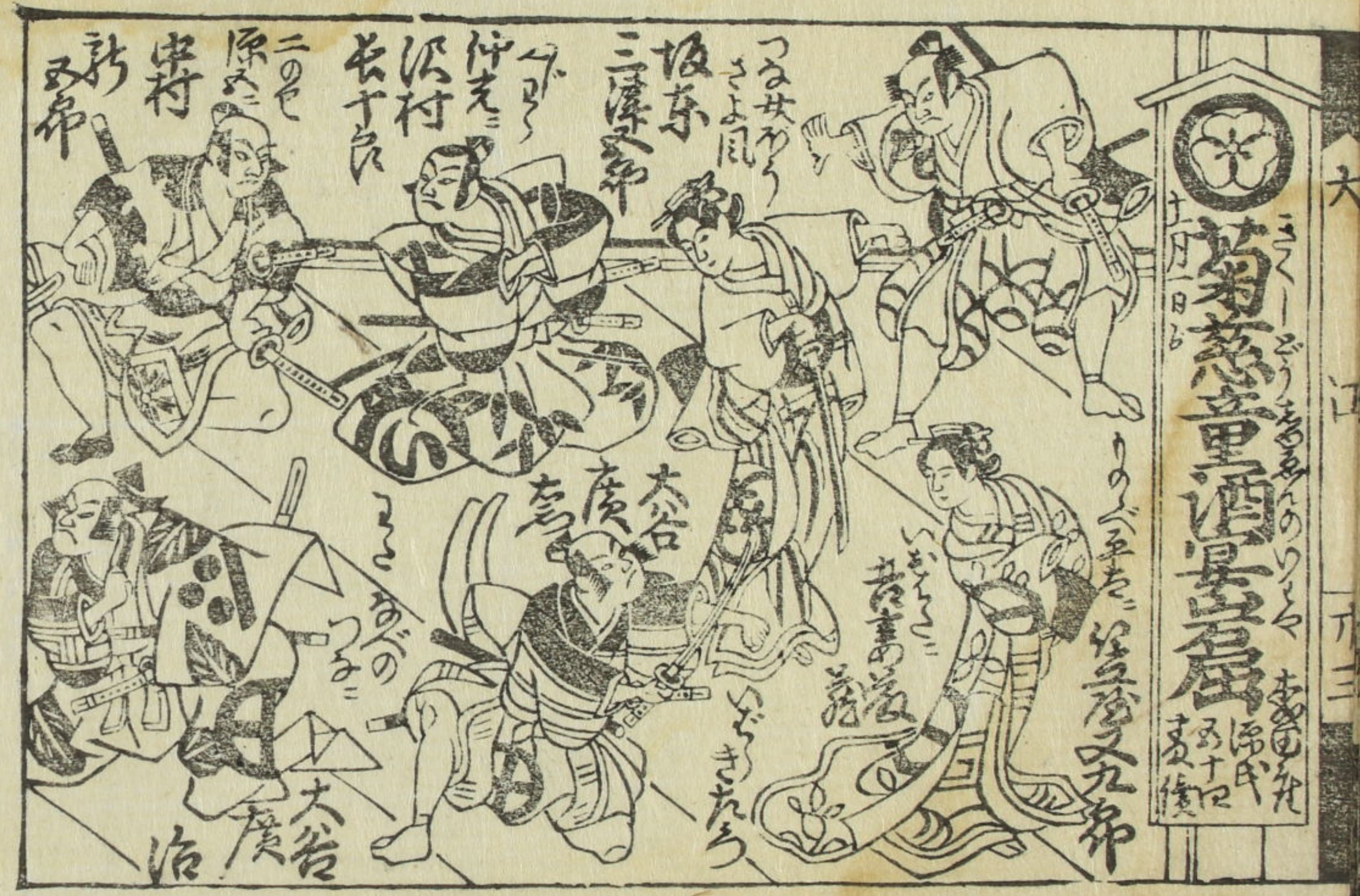
上寺  嵐音八 中村

 山下金作 中村  
 此の源よりして殺害す。此方の大七五平  
 此の源よりして殺害す。此方の大七五平

▲若女伝之部


上上吉  山下金作 中村

 此の源よりして殺害す。此方の大七五平  
 此の源よりして殺害す。此方の大七五平  
 此の源よりして殺害す。此方の大七五平






ありては近所の文をよみて川の経路を引合せて血  
波のせうりもあつたかきりきりもあつたは言と  
してはるるをよみてかきりきりもあつたは言と  
切らふかきりきりもあつたは言と

上上吉  中村里好 中村友

又長根の御花一枝の春明を言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
神の御花の御花一枝の春明を言とよみては言と


上上吉  願川菊之丞 中村友

又花繪の御花一枝の春明を言とよみては言と  
かきりきりもあつたは言とよみては言とよみては言と  
相好の御花一枝の春明を言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と

の御花一枝の御花一枝の春明を言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と

上上吉  中村のー不 中村友

又御花一枝の御花一枝の春明を言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と

上上吉  尾上多目人秀 中村友

又御花一枝の御花一枝の春明を言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と  
あつたは言とよみては言とよみては言とよみては言と

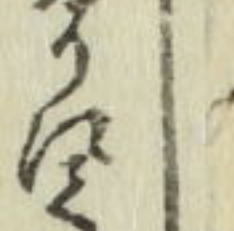
かみの... 美... 貴...  
かみの... 美... 貴...  
かみの... 美... 貴...

上帝  源川雄治印 右様


源川... 貴...  
源川... 貴...  
源川... 貴...


上上  芳次の印は 表


源川... 貴...  
源川... 貴...  
源川... 貴...

上上  小依川の印よ 右様

源川... 貴...  
源川... 貴...  
源川... 貴...


上上  嵐小武の印 右様

上上  沢村の印 右様

上上  源川の印 右様

源川... 貴...  
源川... 貴...  
源川... 貴...

▲ 若倉の印

上上  市川の印 右様



因て白ひ水港より白し水仙花等の盛りのる振  
まづいふなりいば本林丁知て之田原とて之盛とて  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

上上書 ① 佐の川市松 本村

因て佐村上流原にふとてを名原とすか  
病とてまかか縁とて信へし世とて之守原と  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

上上書 ② 坂本虎と名市 本村

因て佐村上流原にふとてを名原とすか  
病とてまかか縁とて信へし世とて之守原と  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

上上書 ③ 市川雲秀 本村

因て佐村上流原にふとてを名原とすか  
病とてまかか縁とて信へし世とて之守原と  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

△頭取し部

上上書 ④ 富沢辰十郎 本村

因て佐村上流原にふとてを名原とすか  
病とてまかか縁とて信へし世とて之守原と  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

上上書 ⑤ 佐川新五郎 本村

因て佐村上流原にふとてを名原とすか  
病とてまかか縁とて信へし世とて之守原と  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

上上書 ⑥ 以村長十郎 本村

因て佐村上流原にふとてを名原とすか  
病とてまかか縁とて信へし世とて之守原と  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

上上書 ⑦ 市川海老蔵 本村

因て佐村上流原にふとてを名原とすか  
病とてまかか縁とて信へし世とて之守原と  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

上上書 ⑧ 中村富十郎 本村

因て佐村上流原にふとてを名原とすか  
病とてまかか縁とて信へし世とて之守原と  
其のよは二級源より信とて其意ありとれらぬの  
いふにせむいはるまゝおのめさうとてのよる  
あく西龍とれり

サカヤノミウノク 四正白氏文集所撰書目牡丹  
新撰牡丹黄全の巻下三つに紅玉の房ありて  
牡丹の房はあたらしくなを厚うこのかき世  
牡丹と云ふくや牡丹の宮柘菴春長ゆを公のうま  
去るまゝの春巻物かき去ら出たりと云ふ  
あかしを中村氏武家ありしく柱久く牡丹  
牡丹のたまは海はぬきの玉を牡丹の牡丹  
云々牡丹の牡丹ありけを牡丹を花に牡丹  
四正白氏文集の牡丹に牡丹と云ふありと云  
有る牡丹は牡丹は牡丹と云ふありと云  
帆柱牡丹の牡丹 四正白氏文集の牡丹に  
春長牡丹の牡丹の牡丹を牡丹は牡丹の  
牡丹の牡丹の牡丹 四正白氏文集の牡丹に  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は

牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は  
牡丹の牡丹の牡丹の牡丹は牡丹の牡丹は

【五】いゝる方おぼくはさかたつたつてきつたてん  
ねがゆらとがんで波ごんごの中み田田をわきむ  
仕向はるたれくぬ。揚屋のふく軍持はまをき  
中をほろの袋をたあふ。かきあふたあふと足取。  
大後藤屋を船の中みするふたまのく。後藤屋  
く。はがもむ。【中書】さかたつたつてきつたてん  
【六】こころまじりては道長のおきか揚の洋村深  
まじりてのきかたつたつてきつたてん  
毎まじりてのきかたつたつてきつたてん  
後藤屋を船の中みするふたまのく。後藤屋  
く。はがもむ。【中書】さかたつたつてきつたてん  
【六】こころまじりては道長のおきか揚の洋村深  
まじりてのきかたつたつてきつたてん  
毎まじりてのきかたつたつてきつたてん  
後藤屋を船の中みするふたまのく。後藤屋  
く。はがもむ。【中書】さかたつたつてきつたてん

おのほくは又おきて男のまじりておぼくはさかたつたてん  
たけがきゆらとがんで波ごんごの中み田田をわきむ  
仕向はるたれくぬ。揚屋のふく軍持はまをき  
中をほろの袋をたあふ。かきあふたあふと足取。  
大後藤屋を船の中みするふたまのく。後藤屋  
く。はがもむ。【中書】さかたつたつてきつたてん  
【六】こころまじりては道長のおきか揚の洋村深  
まじりてのきかたつたつてきつたてん  
毎まじりてのきかたつたつてきつたてん  
後藤屋を船の中みするふたまのく。後藤屋  
く。はがもむ。【中書】さかたつたつてきつたてん

ちまえんく神  
中村井坊とる布

元禄五年正月吉日

御奉行の御用度目録

當時は 市村相友

上上吉 市村忠義

因に夜橋の番えりて其の多敷家様といふは体

中務大夫の御出立の御用度目録

長崎奉行の御用度目録

くささき奉行の御用度目録

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

因に夜橋の番えりて其の多敷家様といふは体

中務大夫の御出立の御用度目録

長崎奉行の御用度目録

くささき奉行の御用度目録

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

上上吉 市村忠義

